

# 第143回 ふじのくに防災学講座

- 日 時 令和4年5月21日（土）午前10時30分～正午
- 開 催 静岡県地震防災センター2階ないふるホール（静岡市葵区駒形通5丁目9-1）

テーマ「避難者のいまを見つめる ～原子力災害から10年～」

講 師 日本放送協会 静岡放送局 記者 なかだ 仲田 もえこ 萌重子 氏

## （講演概要）

震災から10年となった去年、政府は復興施策について「第2期復興・創生期間」と位置づけ、避難者の心のケアなど、ソフト面の支援の強化を掲げました。

特に原発事故のあった福島県は、今も全国で約2万5000人が避難を余儀なくされています。各市町村で避難指示解除の面積や、時期が異なり、避難者の孤立などが懸念されています。岩手・宮城と異なり、復興の位置づけが見えづらい中で、避難者を取り巻く環境や、それぞれの「気持ち」がどう変化し、県外にいる私たちができることは何なのか。福島県浜通りで取材をしてきた記者が伝えます。



講師： 仲田 萌重子 氏